

1. はじめに

株式会社ADEKA 千葉工場は、千葉県ほぼ中央に位置する袖ヶ浦市の北袖にあり、プロピレンオキサイドの誘導体であるプロピレングリコール、ポリエーテル類、エポキシ樹脂・ウレタン樹脂等の製造を行っています。

工場は1975年に旭電化工業株式会社と住友化学工業株式会社（現：住友化学株式会社）との合弁会社として、エイエス化成株式会社という社名で創業を開始しました。その後、1984年に旭電化工業株式会社千葉工場、2006年に株式会社ADEKA千葉工場となり、時代と共に確実な事業拡大をはかり多岐多様にわたる化学製品を製造する総合化学工場に成長しました。従業員は、協力会社を含め約250名が在籍し、夜間も交替制により、製造を行っております。

千葉工場では、品質・環境・労働安全にも積極的に取り組みをしています。

品質への取り組みとしては、品質管理を徹底し常に優れた品質の製品・サービスを継続的に提供します。

環境問題への取り組みとして、環境保全はもとより、地球温暖化、資源枯渇等を含めた、環境負荷の少ない生産工場を目指し改善活動を進めております。本年は、コージェネレーションシステム（内燃機関の排熱を利用して動力・温熱を取り出す、エネルギー効率を高めるエネルギー供給システム）を導入し、これにより省資源・省エネルギーを図っております。これらの取り組みを一層強化することにより、技術と環境との調和を図ってまいります。

労働安全への取り組みとして、リスクアセスメントにより危険作業の洗い出しとリスク低減を基本とし、化学物質管理、作業環境、衛生管理の改善活動を継続的に行なっております。

また、これら活動を円滑に推進するため、国際品質マネジメントシステム ISO9002 を1997年に認証登録（2003年度に ISO9001 に移行）、国際環境マネジメントシステム ISO14001 を2000年に認証取得、労働安全衛生マネジメントシステム OHSAS18001 を2003年に認証を取得しました。

これにより顧客の信頼・安心に応えるようにしています。

品質・環境・労働安全の充実、この3つの基盤で工場の基礎を固め、新しい時代にふさわしい化学工場となるべく、工場の運営を進めて参ります。

2008年10月

株式会社ADEKA千葉工場

千葉工場長 **高取克行**